

## 81500-XNCF-K0S0-D CIVIC FULL BUCKET SEAT SET-D

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は本書を必ずお客様にお渡しいただき、製品の説明及び取り扱い上の注意点をお客様にご説明いただきますようお願い致します。

#### ⚠ (重要) 取り付け作業者及びご使用するお客様へのご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. [適合車種] CIVIC TYPE R DBA-FK8  
CIVIC HATCHBACK DBA-FK7
3. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
4. 本製品のご使用にあたり、ご使用者様の体格、着座姿勢によっては目線、視野が変化する場合がありますのでご注意下さい。
5. 本製品は、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種へ正しく装着された場合は、改造申請は不要となりますので装着したまま車検を受けられます。また、シートレールに貼付されているラベルは、車検審査に必要な確認番号が記載されていますので、絶対にはがさないで下さい。
6. 純正シート内臓サイドエアバッグ付の車両に無限バケットシートを取り付ける場合、サイドエアバッグの保護を受けられません。また、サイドエアバッグ内蔵シートを無限バケットシートに取り替える場合は、必ずダミーカプラーを取り付けて、エアバッグ警告灯が点灯していないことを確認してから車両をご使用下さい。尚、ダミーカプラー取り付けによってエアバッグ警告灯は点灯しなくなりますが、エアバッグの作動を保証するものではありません。ご了承下さい。
7. サイドエアバックの配線コネクタ、及びシートベルトバックルにつながっている配線コネクタが未接続の状態ではバッテリーの接続及び、イグニッションのON/OFFは行わないで下さい。警告灯が点灯する場合があります。
8. 純正シートヒーター装着車に無限バケットシートを取り付ける場合、ドライバーシートヒーターは機能しなくなりますがご了承下さい。また無限バケットシート取り付け作業時及び使用過程においてドライバーシートヒータースイッチの操作を行わないで下さい。ドライバーシートヒータースイッチを操作するとECU内にDTCコード (B1C61) 「ドライバーシートヒーター電流値低い」が記憶されるのでホンダサービス工場等でECUのリセット（コードを消去）を行って下さい。ECUのリセットを行わないまま使用を続けた場合の警告表示等のトラブルに付きましては補償しかねますのでご了承下さい。
9. 本シートレールは新車を元に採寸・設計を行っています。万一、車両個体差や経年変化などでフロア取り付け部分に大幅な寸法差がある場合など、シートレールを改造しての取り付けは大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。
10. シートレールなどには突起部や金属部品が多数ありますので、作業は軍手などの保護具を使用し、取扱いに十分注意して作業を行って下さい。
11. ボルト及びナットの締め付けには、寸法のあった工具を使用して確実に行って下さい。また、締め付けトルクの指示がある場合には、規定のトルクにて締め付けて下さい。
12. 定期的にボルトの緩み等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。
13. 純正シートの取り外し及び、無限シートの取り付けの際には、ドアトリム・コンソールボックス、ステアリングホイールなどに傷を付けたり、部品を破損しないよう、十分注意して作業を行って下さい。作業の際はシートを傷付けない為に、必要に応じ、保護シート（例：厚手の毛布など）を用いて作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

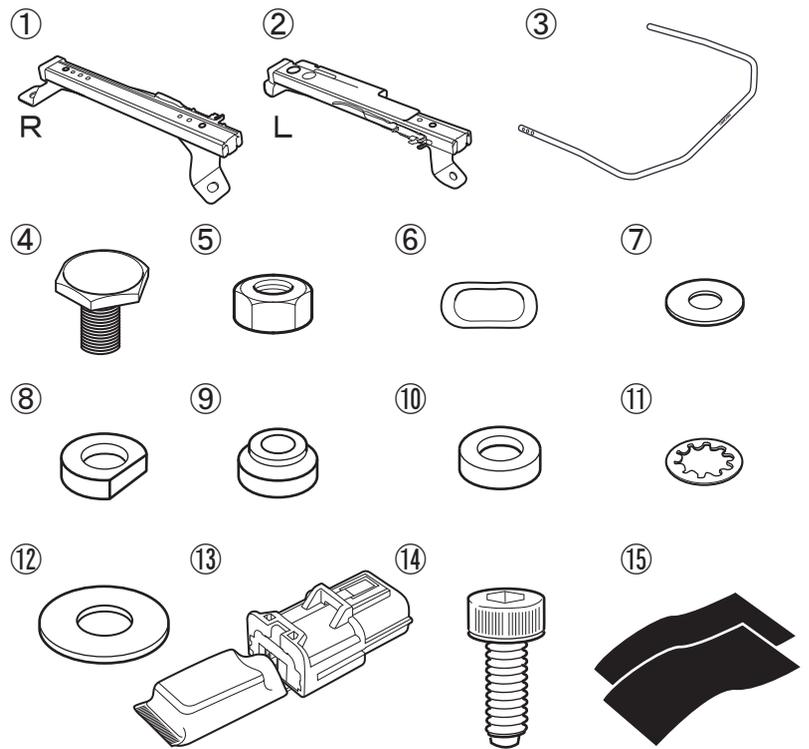
〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

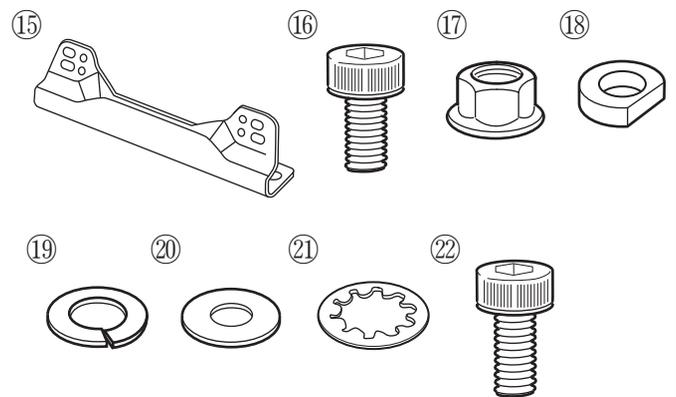
## 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	シートレール R	1
②	シートレール L	1
③	スライドレバー	1
④	UNFボルト	1
⑤	UNFナット	1
⑥	ウェーブワッシャー	1
⑦	平ワッシャー外径24mm	1
⑧	ミーリングスペーサー (6mm厚)	4
⑨	スペーサー (7mm厚)	4
⑩	カラー外径14mm	2
⑪	歯付ワッシャー	1
⑫	平ワッシャー外径32mm	3
⑬	ダミーカプラ	1
⑭	キャップボルトM8×40	4
⑮	エッジプロテクター (フェルト)	2



## フルバケットシートセット専用構成部品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑮	サイドアダプター (左右共通)	2
⑯	キャップボルトM8×25	4
⑰	フランジナットM8	4
⑱	ミーリングスペーサー (6mm厚)	8
⑲	スプリングワッシャーM8用	4
⑳	平ワッシャーM8用	4
㉑	ロックワッシャー	4
㉒	キャップボルトM8×30 (使用しません)	4



## 【必要工具】

- ・六角レンチ ・メガネレンチ ・スパナ ・ソケットレンチ ・トルクスレンチ ・トルクレンチ
- ・クリップリムーバー ・ビニールテープ ・スケール

- 《作業上の注意》・内装部品等に傷を付けないよう注意すること。
- ・ケガ防止の為、保護具等を着用して作業を行うこと。
  - ・作業は、他の人に保持してもらいながら行うこと。
  - ・必ず適切な工具（工具サイズ）を使用すること。

## I. 純正シートの取外し

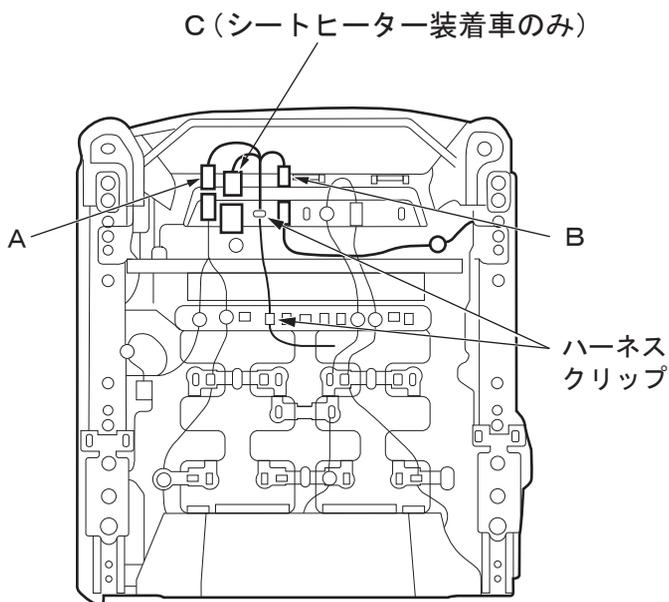
①バッテリーのマイナス端子の接続を外す。

※12Vバッテリー キャンセル時の注意事項を確認し、12Vバッテリーのマイナス（-）端子からケーブルの接続を外した後、3分間待つこと。

②フロント シート ボルト4か所をトルクスレンチを用いて取外す。（サービスマニュアル参照）

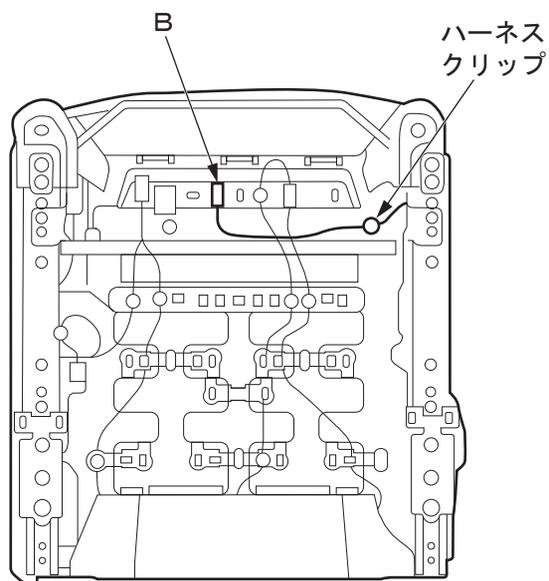
その際に取外したボルトは再利用する為、紛失や破損に注意すること。

③フロント シートを傾け、ハーネス クリップを外しサイドエアバックカプラ（A）、シートベルトスイッチカプラ（B）、シートヒーターカプラ（C）の接続を外す。（サービスマニュアル参照）

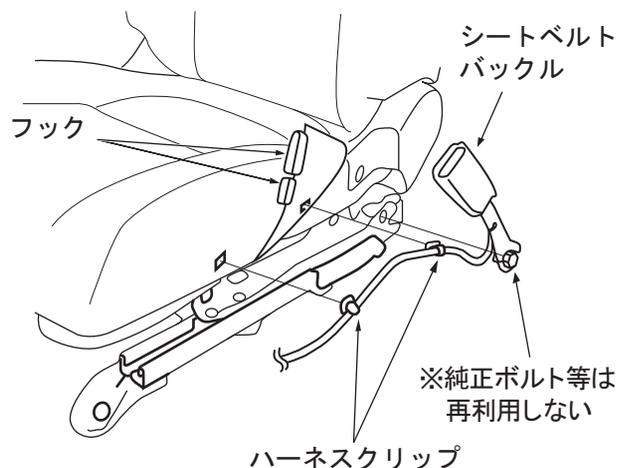


④内装などを傷付けない様に注意しながらフロント シートを車外へ取出す。

⑤シート下面より、ハーネス クリップ、シートベルト スイッチ カプラ（B）を取外す。



⑥フロント シートクッション トリムカバーのフックを外し、トリムカバーをめくり、ハーネス クリップ、フロント シートベルト バックルを取外す。



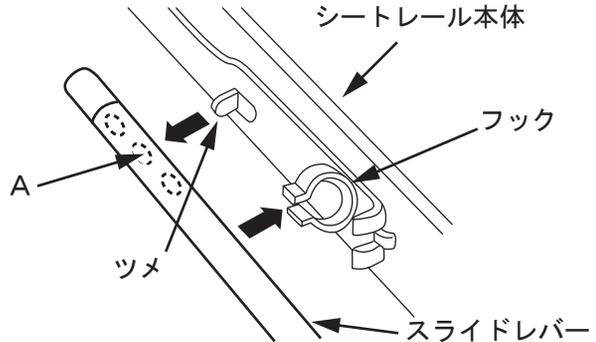
〈作業上の注意〉・シートやシートレールに傷を付けないよう注意すること。

- ・ケガ防止の為、保護具等を着用して作業を行うこと。
- ・作業は、他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・必ず適切な工具（工具サイズ）を使用すること。

## II. シートとシートレールの組付け

①シートレール本体をスライドさせ、サイドアダプターの取付け穴とシートレール本体の取付け穴（最外側(下図※1参照)）を合わせ、サイドアダプターのR/LをキャップボルトM8×40、ロックワッシャー、ミーリングスペーサー6mm 3枚、スペーサー7mm 1枚、フランジナットを用い規定トルク(24N・m)で締付ける。

②スライドレバー上の「RECARO」ロゴが上向きとなるよう、スライドレバーの穴（A）にシートレール本体のレバー固定用のツメをはめ込んで固定する。同時にシートレール本体のフックにもスライドレバーをはめ込み、シートレールR/Lをつなぐ。

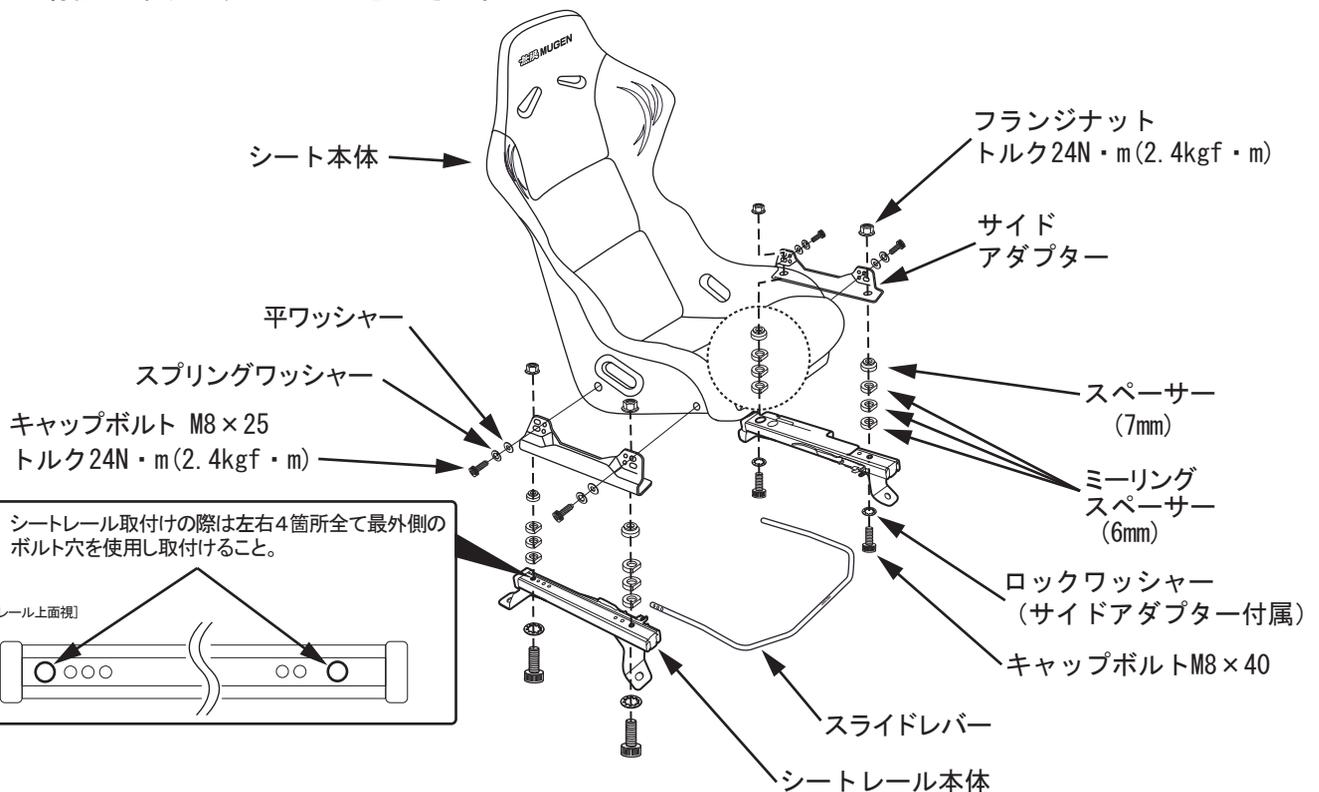
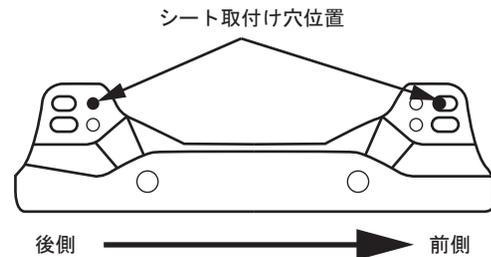


③シート本体をサイドアダプターR/Lの間にはさみ込む様に入れ、キャップボルトM8×25、スプリングワッシャー、平ワッシャーを用いて規定のトルクで締付ける。(サイドアダプターのシート取付け穴位置は下図※2を参照)

※2 サイドアダプターは左右共通です。

8箇所の取付け穴のうち、上段の進行方向前側2箇所を用いて、シートを固定して下さい。(右図参照)

この穴位置が保安基準適合組付け位置です。この取付け位置以外で取付けた場合、体型や着座姿勢によっては死角の増大や、スピードメーターが見えなくなるなどの支障をきたす場合がありますのでご注意ください。

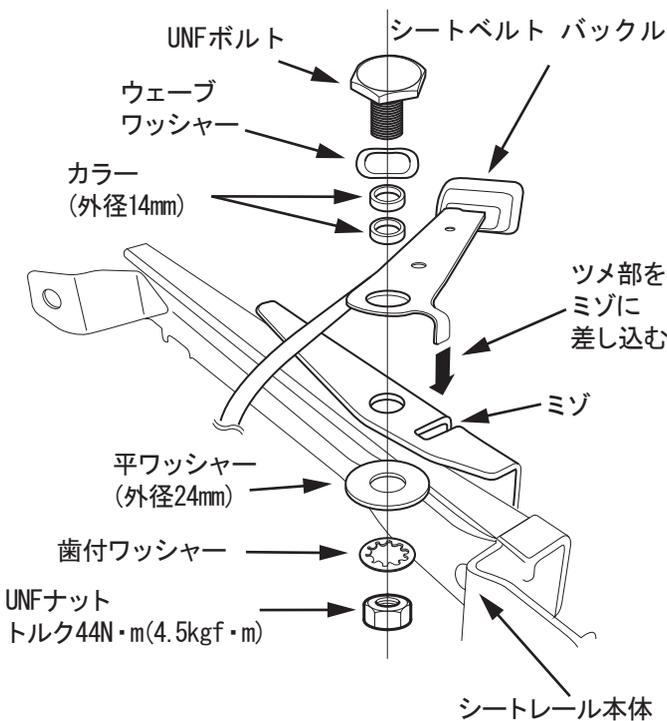


- 〈作業上の注意〉
- ・シートやシートレールに傷を付けないよう注意すること。
  - ・ケガ防止の為、保護具等を着用して作業を行うこと。
  - ・作業は、他の人に保持してもらいながら行うこと。
  - ・必ず適切な工具（工具サイズ）を使用すること。
  - ・ハーネス類は慎重に扱い、断線、ショート等に注意して作業すること。

### Ⅲ. シート、シートレールの取付け

①シートレールにシートベルトバックルを取り付ける。

- 1, 下図の方向、順に、UNFボルト、ウェーブワッシャー1個、カラー（外径14mm）2個をシートベルトバックルの穴を介して、シートレール本体のベルトアンカー固定穴へ通す。その際、シートベルトバックルのツメ部をシートレール本体のミゾ部にはめ込むこと。
- 2, UNFボルトへ平ワッシャー（外径24mm）、歯付ワッシャーの順で通し、UNFナットを使用し規定のトルク（44N・m）で締付ける。

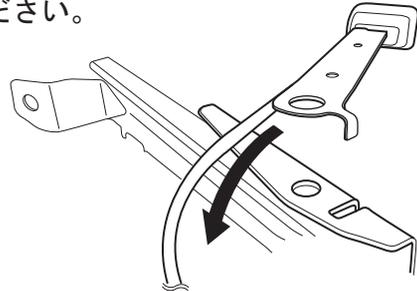


※ボルトを締め込む際にウェーブワッシャーを噛み込まないように注意すること。

②内装などを傷付けない様に注意しながら、シート、シートレールを車両へ乗せる。

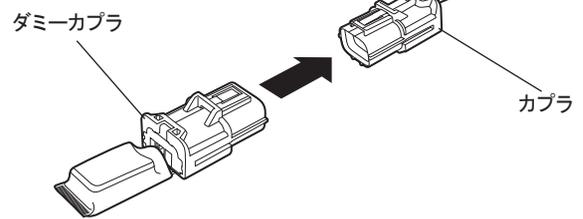
③シートベルトバックルのハーネスをシートレールの外側から通す。

※この位置以外にハーネスを通すとシートレールにハーネス類が噛み込む場合がありますのでお止めください。



④サイドエアバッグのカプラにダミーカプラを接続する。

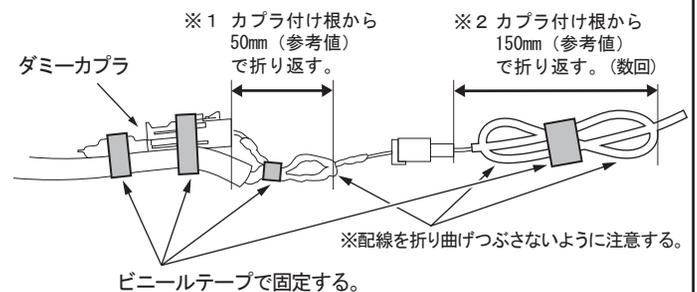
※端子接続時は「カチッ」と音が鳴るまで差し込むこと。



⑤シートベルトバックル、サイドエアバッグのハーネスの全長分をまとめ、ビニールテープで固定する。

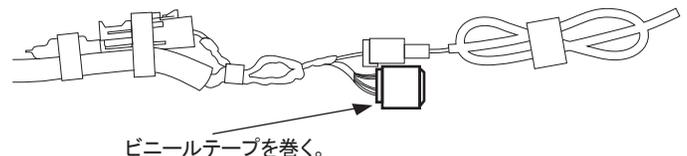
#### ハーネスの接続参考図

ハーネスを束ねる際の折り返し参考寸法 ※1 ※2

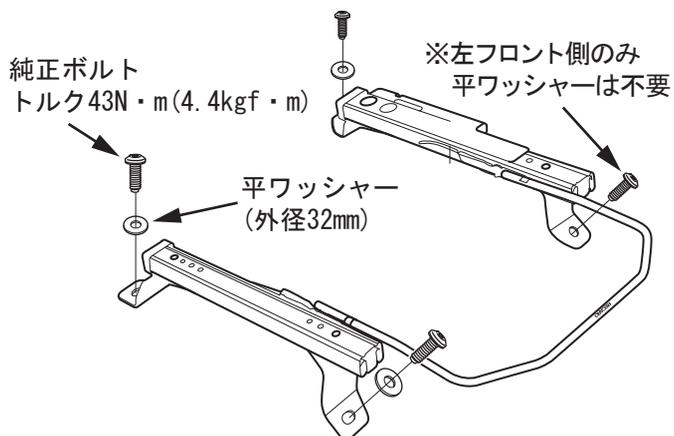


※ハーネスはシートレールを前後させた時に干渉や、噛み込み及び必要以上の引っ張りがないよう注意すること。シート固定後も必ず確認すること。

※シートヒーター装着車の場合、シートヒーター用のカブラの接続面を塞ぐようにビニールテープを巻き、保護すること。



⑥ 純正ボルトを再使用し、左フロント側を除く3箇所平ワッシャー（外径32mm）を使用し、規定のトルクで締付け、シートレールを車両に固定する。



⑦ 【参考作業】 付属のエッジプロテクター（フェルト）はフロアパネルの板金部が露出する部分に好みに応じて貼付けて下さい。

※純正のフロアカーペットには貼付きませんので必ずフロアパネル（板金部）に貼付けて下さい。その際、貼付け部は脱脂洗浄すること。

⑧ 取付け確認をする。

- 1, バッテリーのマイナス端子を接続する。
- 2, シートベルトの脱着を確認し、シートベルト警告灯の作動及びエアバック警告灯が点灯しないことを確認する。
- 3, シートレールを前後に作動させ、スムーズに動くか、確認する。
- 4, 各部の取付け状態が完全か、確認する。